



笑顔でつなぐ、未来へつなぐ 職場リレーの女子駅伝 岡崎技研株式会社

職場リレーの第五走者は、岡崎技研 株式会社（代表取締役 天野邦彦氏 愛知県岡崎市大樹寺一丁目12番地3）の女子社員の皆様です。創業45年目を迎える老舗の同社は勤続年数の長い社員が多数在籍されています。社員の気持ちに寄り添う職場について、二名の女子社員の方にお話を伺いました。

★自己紹介をお願いします。

柴田：柴田真理です。勤続年数は25年です。

波多野：波多野真由美です。私は勤続13年です



左から柴田真理さん、波多野真由美さん

★お二人の担当業務についてお聞かせください。

柴田：私は仕入れ、契約書、マニフェストなどの担当をしています。

波多野：私は売上全般、請求書作成などです。

を乗り切ることができました。その時波多野さんには私の担当業務をフォローをしていただき、とても有り難かったです。この場を借りてお礼を言いますね。ありがとうございました。

波多野：いえいえ、お互い様ですから気にされなくてください。病はいつ

誰が雇うか分かりませんので、できる範囲で助け合うということは当たり前のことだと思います。

★お二人とも勤続年数が長いですね。

柴田：はい、周りの方から支えられて今に至っているのではないかと思います。

波多野：私は転職をして入社しましたが、働きやすい環境が、長続きの秘訣ではないかと思います。弊社は週休が2日あり、残業も少なく就業環境は恵まれているのではないかと感じております。

柴田：私は以前家族の入院があり、通常勤務に困難をきたしたことがありました。その時は、本当に周りの皆さんからサポートをしていただき、その期間

★職場の皆さんの関係が良好なんですね。

柴田：そうですね、特に意識したことはありませんが、弊社の社風といいますか、社長の優しいお人柄ではないかと感じます。社員同士も仲がよく明るい職場です。

波多野：以前私は社長がお手洗いの掃除をされているのを見かけたことがありました。社長の仕事へ対する姿勢が、自然に社風へ反映され社員間にも思いやりを持った空気が生まれるのではないかと思います。





柴田：私は恵まれた環境にとっても感謝しています。日々業務の効率化を図るスキルアップは欠かせませんが、自然体で仕事に当たれたことも継続につながったのでしょうか。

★お休みの日はどのように過ごされますか。

波多野：お休みは家族と過ごすことが多いです。一緒に買い物に出かけたり、料理をして家族に振る舞うなど、共に過ごす時間を楽しみます。また映画鑑賞が趣味なのでジャンルを問わず見ます。傾向的には文芸的な作品が好みかもしれません。

柴田：私も家族と過ごします。特にお休みの日にしかできないことをしますね。家族とショッピングに行ったり、外食に行くのも楽しみの一つです。特に家族の入院を経験してからは、気遣う気持ちが深まりました。

★それでは、産廃業界の仕事に関心がある方へお二人からメッセージをお願いします。

私たちは産業廃棄物のことは何も知らずに入社しましたが、毎日の業務内容から知らず知らずのうちに理解をするようになりました。男性中心の業界であるような雰囲気ですが、女子社員への配慮が多数感じられ、福利厚生を含め充実しています。

また環境への関心も高まり、廃棄物を適正処理す

ることができないと私たちの生活に支障が出てくるため、環境社会への意識も芽生え日常生活においてもリサイクルを心がけるようになりました。

今後増え続けるであろう廃棄物に対して、環境への負荷を低減することに向き合う最前線の現場として、この業界で働くということは、とてもやりがいを実感していただけるのではないのでしょうか。

★最後に次の企業さんへのメッセージをお願いします。

最初に思い浮かぶ言葉が、『働く場所があることに感謝』です。これは転職をした経験から出る本音であり、安定した職場があってこそ生活の基盤が築けます。その感謝の気持ちを持って業務に当たっていくことにより、道が開け成長できるのではないかと思います。他社の皆さんは職場でどのようなことに感謝されていますか。

岡崎技研（株）に就業されている柴田さんと波多野さんが、長く就業できるコツがお話しの中からじわじわと伝わってきました。穏やかなお二人の飾らぬ言葉からは、本当に仕事がしやすい環境づくりに取り組まれている会社のスタンスが見えてきました。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。



左から柴田さん、波多野さん、取締役 天野晃明さん